
非日常的な人たちの日常生活

XENOM

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

非日常的な人たちの日常生活

【Nコード】

N5469BA

【作者名】

XENOM

【あらすじ】

今まで自分が書いてきた短編小説を少しずつ投稿します。物語の一つ一つに直接的な繋がりはほぼありませんが、舞台である世界と登場人物が同じになっております。

設定を物語の頭の方に少しずつ書いていく予定です。

恋愛ものが濃い物はあらかじめ警告を前書きに記述するつもりなので、苦手な方はブラウザバックでお戻りください。

NEXTの悩み

ジユテピがアルカディアとデスロストに分裂したのは約100年前のことだった。

能力者と呼ばれる人々が繁栄したジユテピの分裂理由は、今でも人々の謎になっている。

—NEXT・B・アルカディアは、ひたすらバイクを走らせていた。どこに行くかも決まっておらず、とにかくガソリンを消費していく。後ろに大切な人を乗せて。

「あまり元気ないみたいだけど、どうかしたの？」

NEXTの腰を抱きしめながら後ろに座っていた涼野冷^{すずのれい}がいつもと違うNEXTをみて心配そうに尋ねた。

「・・・何でもない」

NEXTは一瞬だけ後ろを見た後、呟いた。

冷はNEXTの大切な彼女だ。

高校一年生の時に知り合って、今ではこの状態である。

「いつもと違うから聞いてみたんだけどなあ・・・」

冷が露骨に悲しそうな顔をした。

「戻るぞ」

NEXTは、結局何も言わなかった。

冷は少女期、イタリアに住んでいた。

剣術の才能にあふれ、人々からは「剣聖^{けんせい}」と呼ばれて賞賛され、同じ剣士からは恐れられた。

NEXTはアルカディア王国の次期国王になる人だった。

一般人とは程遠い身分で、恋人を自由に作ることなど不可能に等しい状況だった。

そばに居るのは親が寄越した付き人。

NEXTは自分の好きなように人生を歩みたかったから、高校は日本に留学する事を決めた。

何人かの信用できる使用人を連れて。

二人が出会ったのは、能力者を育成する教育機関の一端、「天王寺^{てんおうじ}学園^{がくえん}」だった。

冷とNEXTは、同じクラスだった。

剣術の授業で初めて剣を交えたときに、二人には電撃が走ったかのような感情を覚えた。

二人は鋭かった。

その思いが恋だと分からないほど鈍感ではなかった。

二人の気持ちを確認するために、何回も喧嘩した。

何回も喧嘩するうちに、さらに二人は絆を深めあった。

「またそんなこと言って・・・。絶対何かあることは分かってるんだから」

NEXTは何も言わずに部屋に引込もつとしたが、冷が恐ろしいほどの力でNEXTの腕をつかむ。

「なにか言いたいことがあったら言って。NEXTは一人で生きてるんじゃないんだよ?」

本当に心配だった冷は、いつもと違うNEXTを見てさらに心配になった。

「人は共生依存してるのは分かる。でも、この件は冷に立ち入ってほしくない」

NEXTが三日前に受け取ったメールは、アルカディア国王・・・つまりNEXTの父親からの物だった。

(23歳までに帰って来いだと・・・?)

あまりにも突然すぎる物に、NEXTは僅かながら反感を胸に秘めていた。

普通では長いと思われる残り6年間も、NEXTにとってはあまり

にも短い年数だった。

（あと6年で一生アルカディアに縛られる）

仕事の大変さと支持率77%という重みがNEXTを締め付ける。
立憲君主制の制限王制だとしても、国王がこの世を去るまで、そして去ってからでもアルカディアで監視付きの生活を送ることはNEXTにとって一番の恐怖だった。

一週間ほどたった後、NEXTはそれを何回も何回も考えた後に父にメールを返信した。

「アルカディアに戻ったとしても、俺は自分の思う通りに人生を父さんがこの世から去るまで歩んでいく」と。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n5469ba/>

非日常的な人たちの日常生活

2012年1月14日23時48分発行